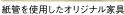
容器が主力製品工業用材料の巻き取り芯や

は業界初。この紙管にアクリル板などを

紙管にスリットを入れる加工の実用化

メーカーと関連設備を共同開発した。

# 試作可 小ロット



# 主な事業内容

紙管製品の製造・販売

## 主な取引先(納入先)

DISCUSSION TABLE

商談席

各種紡績関係メーカー、 -リング材メーカーなど

### 主な製品

# 社長あいさつ



代表取締役 くわむら たけまさ 桒村 豪優さん

ものづくりは一人ではできませ ん。仕入れ先と協力会社、そし て、お客様によって支えられ、成 り立っています。私たちはものづ くりで結ばれる関係性を大切に しながら、次世代や未来を意識 して生み出されたアイデアや製 品を提供することで社会に貢献 していきたいと考えています。

### 主な保有設備

- 全自動二基筒ラングストン 生田鉄工製 1台
- ■縦割紙管機 小川製作所製 2台
- ■足踏み式カッター 5台
- ■断裁機 Fuji 1000-III 余田機械工業製 1台
- ■高周波装置 SPA-30 ミヤデン製 1台



住 所/〒581-0039 八尾市太田新町 5-51

T E L/072-949-0340 F A X/072-949-1664

業/昭和43年3月 立/昭和46年9月

資本金/1,000万円

従業員/9名

巻き取り用紙管(ボビン、スプール)、 カートリッジ紙管など

# 活用して家具開発独自の縦溝加工紙管

て紙管の側面にスリット(溝) また、紙管にシートを付加する方法とし せて枠組みにし、ビニールシートを付加 に入れる加工方法も考案し、 した飛沫防止パーテーションを発案した。 管と樹脂製のジョイント部品を組み合わ 症が拡大する中、新商品を模索。紙令和2年以降に新型コロナウイルス感 を縦方向 加工機器

維持できるようにしている」と乗村豪優使わなくてもしっかりと留まり、強度を

社長は、こう創意工夫を明かす。「年間

15万本以上を国内外に出荷している」

未来を意識した環境配慮型の製品

バの留め具素材の変更にとどまらず、

金

を用いている。「紡績業界向けボビンはツ 郵送や絵画保管用紙筒の蓋に再生コルク

性プラスチックを採用するほか、ポスター

型から形状を再設計し、

製造時に糊を

い関係、を構築するという会社の基本 事業を通じて技術と人、人とモノとの、よ ほか卒業証書用丸筒なども手がける。 を郵送する際に使う紙筒や、 の一つである。また、カレンダーやポスター ッジも製造しており、 年に紙管の製造を開始した。 紙管を製造する専門メーカー。 姿勢も表している。 に包装材料販売会社として創業し、 社名は創業に関わった当時の社長、 .形に折り曲がるように加工した製品の 業用材料を巻き取る際に芯材となる 地に施工するシーリング材用のカートリ 一協丸筒は、 工場長3人の結びつきを象徴する。 布やフィルム、 現在もメイン製品 建物などの 昭和43年 両端が半 ジナル家具を開発し、特許も取得した。 開発商品は自社通販サイト られる。このような特長を生かしてオリ はめ込むことで強度および安定性が得 グ材用カートリッジのノズルなどに生分解

タムオーダー製品の開発・製造にも対応 けボビン (巻き筒)の留め具や、シーリン 品の開発にも力を入れる。紡績業界向 すい生地を巻くための紙管などを提案し 湿気に強い素材を使った紙管や、 用途や使用環境・条件に合わせたカス 製品 また、環境負荷が小さいエコ製 再生コルクを積極的に採用生分解性プラや 滑りや



ひもやテープを巻き取るボビン



で販売している。

恋する紙

再生コルクキャップ採用の丸筒



づくりに、

さらなる意欲を示す。